



インターンシップ最終日(3日目) 何をしたらいいかが分かってきて、もくもくと仕事をしていました。ピーマンを収穫するための農業用のはさみなどを研ぐ作業中です。立ったままでの作業は、少し大変なようでした。(機械科)





広々としたサッシ製造工場では、機械科の生徒が、運搬やねじを締めたりなどの仕事を手伝っていました。



社員の方の指導を受けながら、スチール板を切る作業に、真剣に取り組んでいました。1台数百万円も、またはそれ以上の高価な機械が、工場内に配置されていました。建築関係の仕事だけでは、成り立っていかなくなってきているらしく、新しい製品づくりを検討しているとの話も聞きました。会社を経営するのは、大変なようです。



お客様に気持ち良くお買い物をしていただくために、商品を点検しながら、きれいに整理していました。(商業科)



商品を箱から出して、並べる作業をしていました。与えられた仕事を責任を持って行なっているというのが伝わってきました。一生懸命な姿は、買い物に見えたお客様にも好印象を与えていたのではないかと思います。



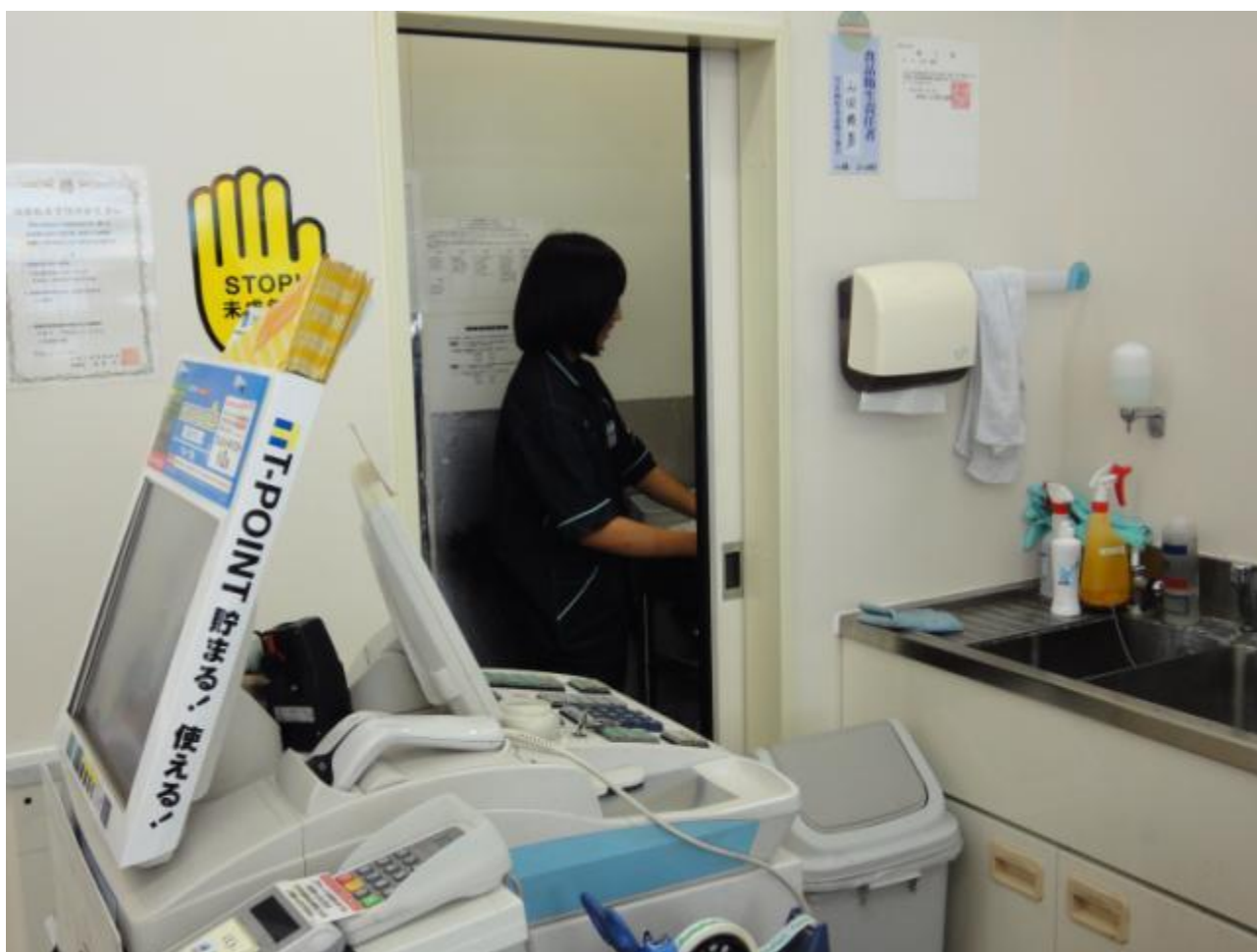
昼食の時間帯のレストランでは、商業科の2人が、お客様にお冷を出す用意をしていました。にこやかな表情で取り組んでいて、指導されていたかたからも、よく働いていますよと、お褒めの言葉をいただきました。(商業科)



お客様にどのように接していけばいいかを学ぶことができたのではないのでしょうか。お客様の笑顔が見えています。



コンビニのレジの所で、商業科と経営情報科の2人が、働いていました。3日目ともなると、2人とも仕事に慣れて、お客様への対応も、爽やかで好印象を与えているようでした。お店の店員の方も、安心して見ておられるようでした。





ガソリンスタンドの建設現場では、係の方の指示に従って、周辺の清掃をしたり、危険を伴わない作業のときは、手伝ったりと、いろいろな経験をさせてもらっていました。係の方もありがたかったとおっしゃっていました。(建築環境科)



3日間のインターンシップが、全員無事に終わりました。それぞれがよい経験をしたと思います。この経験を今後の高校生活に大いに活かして行ってほしいものです。企業の方々、生徒たちの御指導ありがとうございました。